

○議長（井上勝彦君）次に、順番7、1番 松浦君の順番であります。具合により松浦君を17番に変更し、順番8、12番 清水君を7番に繰り上げ、以下、順次繰り上げることといたします。

順番7、12番 清水君。

〔12番（清水信弘君）登壇〕

○12番（清水信弘君）松浦議員がきょうやる予定だったんでありますけれども、私、予定してなかったんですけれども急遽回ってまいりました。一般質問に命をかけているような松浦議員が欠席するとは思いませんのでございました。当局にとりましては、しばし時間に余裕がありますので、もう一度答弁をよく精査されて、体調を悪くさせることのないようお願いしておきたいと思っております。始めたいと思っております。

世界の中心に咲く花、いわゆる中華思想によって独善的、利己的な理論を展開する中国。日本のこととなると、あらゆる事象で既に体内に組み込まれたようなDNAにより、対日アドレナリンがもりもりわく韓国によって、あつぷあつぷの民主政権。その象徴が尖閣問題。それに一石を投じた尖閣買収。石原知事の政治センスに畏敬脱帽いたします。もし、知事もしくは副知事より直接のご要望があれば、固定資産税の高さにきゅうきゅうとしている市議ではあります。わづかでも買収への協力は行いたいと思っております。なお、この寄附行為は当該事務所等が管内になく、選挙のポスターにこの行為をうたったとしても、公職選挙法には抵触しないと選挙管理委員会の託宣をいただいております。皆さまよろしくように。

一つ目、橋本駅での南海電車とJRの乗り継ぎがわずかの差でそごすることについて、市民及びJR沿線住民のため、本市がとれる対策はないのでしょうか、を質問いたします。なお、数字の羅列になりますが、私の質問は、橋本駅発JRを中心としてなされております。今配らせていただいたものは、なんば駅発のものになっておりますので、それと見比べながら見ていただければよくわかると思います。

JR線の列車の本数が少なくなっていく中、南海線との乗り継ぎがうまくかみ合わない列車があります。通勤という観点から、平日の帰宅のみについて述べますが、まず、JRの下り列車について、夕方1時間につき2本ある16時からの南海電車との乗り継ぎについて調べてみました。

まず、JR橋本発の16時に乗るためには、南海なんば駅15時発に乗って、橋本駅にて10分の待ち合わせとなります。以下同様に、JR16時30分には、なんば15時24分発で15分の待ち。JR17時2分には、なんば15時58分で9分待ち。JR17時34分には、16時36分で7分待ち。18時7分には、16時59分で16分待ち。18時48分では、17時47分で7分待ち。この橋本発18時48分のJRの下りに、なんば発18時に乗ると橋本着18時53分で、5分間に合いません。JR19時29分では、なんば18時20分発で16分待ち。このJR19時29分の下りには、なんば18時40分発に乗ると橋本着19時35分で、6分間に合いません。20時には、18時50分で15分待ち。20時31分には、19時30分で6分待ち。21時01分には、19時49分で17分待ち。21時56分では、20時49分で13分待ち。22時台に

はJRの下りには1本の電車もなく、JR最終23時27分には、なんば22時24分発に乗って12分の待ちとなります。

次に上りについては、JR橋本発16時07分には、なんば発17時で17分待ち。16時57分には、15時58分で4分待ち。17時37分には、16時36分で10分待ち。18時8分には、16時59分で17分待ち。18時35分には、17時35分で7分待ち。このJR橋本発18時35分の上りには、なんば発17時47分で橋本着18時41分で、6分間に合いません。JR19時18分には、18時20分で5分待ち。19時44分には、18時40分で9分待ち。このJR19時44分に、なんば発の18時50分に乗ると橋本着19時45分で、1分間に合いません。20時16分には、19時20分で4分待ち。20時30分には、19時30分で5分待ち。21時01分には、19時49分で17分待ち。21時29分には、20時30分で5分待ち。21時56分には、20時49分で13分待ち。22時24分には、21時24分で9分待ち。最終23時27分には、22時24分で12分待ちということになります。

橋本市は大阪、奈良と接する要衝の地で、背後に高野を控えた文字どおりの南海高野線の主要駅でもあり、南海電車と相互に依存すること大の関係で、いわゆる切っても切れないものがあります。しかるに前述した南海電車とJR和歌山線の待ち時間についても、地方に住む不利を感じないわけにはいきませんが、わずか1分、6分の差で乗れない接続が通勤帰りの時間帯に上下線各2本あることは残念に思います。JR和歌山線下りには、紀伊山田高野口、上りは下兵庫、隅田と我が橋本市でありますし、市民に限ることなく、本市が住民沿線のために乗りかえ接続の利便性を図るべく、とるべきものは何かないかとの質問であります。

2番、旧高野口町内に存在する、いわゆる迷惑施設とされる広域のごみ焼却場、市営の

斎場について、その存続期間をお示してください。市民の正当な利益、また地域の公平性を図る上からは、施設の持ち回りも視野にあっていいと思いますが、市長のお考えを伺っておきたいと思います。

壇上より以上であります。5月24日の朝日新聞の天声人語欄に、今や常套句の首相の決意を「いくつあるのか政治生命」と川柳欄が一刺ししていた、とやゆしておりました。前2人に比べれば、相当ましな民主党の野田首相とはいえ、今までの選挙で増税をうたった首相はことごとく選挙に敗れました。私の理解の及ばない不思議な政党の党首で、たかが政治生命とはいえ、それを賭してまで、いつ行われても政権交代がもはや明らかな次の選挙の前に、相手方に塩まで送っておこうという見上げた根性は、後世にいかが評価されるものでありましょうか。それまで長生きしたいと思います。

この一般質問に及んでおります市議会員全体に言えることではありますが、ある種の決意は持って臨んでおります。もちろん、安かろう政治生命などをかけたりしないと思いますが、私儀もそのとおりであります。再質問の少なきよう、なきようのご答弁をお願いして、壇より下がりたいと思います。

終わります。

○議長（井上勝彦君）12番 清水君の質問項目1、橋本駅での南海電車とJR線の乗り継ぎに係る本市の対策に関する質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長（森口清隆君）登壇〕

○企画部長（森口清隆君）それでは、橋本駅での南海電車とJR線の乗り継ぎに関し、本市がとれる対策についてお答えいたします。

現在、JR和歌山線、南海高野線を利用する人の数が年々減少化の傾向にある中、特に

J R和歌山線などのローカル線を取り巻く経営状況は大変厳しくなっています。また、それに伴い、J R和歌山線の運行本数も少なくなっているのが現状であります。

一方、列車ダイヤにつきましては、J R西日本、南海電気鉄道ともお互いがダイヤ情報を交換し、乗り継ぎを考慮しながら改正しているとお聞きしていますが、J R和歌山線、南海高野線とも他の鉄道事業者と接続しており、それらすべての調整を行うことは非常に困難であり、どうしても連絡が悪くなる列車ダイヤが生じるとのことです。

議員おただしの中で、市民及びJ R沿線住民をはじめとした利用者が、大阪方面への通勤のための乗り継ぎがうまくかみ合わない列車があるということで、確かに平日の和歌山線上下線の橋本発18時台と19時台の上下線各2本で、乗り継ぎ時間が1分から6分間に合わない状況となることが確認できます。特に、上りJ R橋本駅発19時44分に、なんば発18時50分に乗りますと1分間に合わないという状況は、私どもとしても残念でならない思いをいたしております。

しかし、議員も発言されていますように、乗車予定の1本早い列車、発車時間で申しますと10分から20分程度早い列車に乗っていただくと、間に合わなかった電車で約7分から16分程度余裕を持って乗り継いでいただけることとなります。

例えば、先ほどなんば発18時50分に乗車するとJ R上り橋本駅発19時44分に1分間に合わないと申し上げましたが、10分早いなんば発18時40分に乘っていただくと、9分間の余裕で乗り継ぐことができます。また、この時間帯における南海なんば駅発の列車本数を見ますと、帰宅時間を考慮して1時間に4本運行されており、通常時間帯より1本増発することで、乗客の混雑緩和と利便性の確

保を図っているようでございます。

議員おただしの、乗りかえ接続の利便性の向上を図るべく本市がとれる対策はないかとのことですが、本市といたしましても、可能な範囲で市民及び沿線住民の方々をはじめとした利用者の利便性の向上や、地域の活性化のため、できるだけスムーズに乗り継ぎができるよう、鉄道事業者でありますJ R西日本和歌山支社と南海電気鉄道株式会社に対して、ダイヤ改善の要望をしまいたいと考えております。

また、あわせてJ R和歌山線沿線の地域振興と一層の活性化のため、和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市及び和歌山県とJ R西日本和歌山支社で組織する和歌山線活性化検討委員会において、利便性の向上などにつながるダイヤ改善に取り組みを働きかけを行いたいと考えておりますので、ご理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）12番 清水君、再質問ありますか。

12番 清水君。

○12番（清水信弘君）答弁としてはそういうものになってくるんじゃないかと思えます。ただ、この4本というのは、まだ何となくというか、奥さんがまだ御飯食わずに待てる時間なんですよ。だから、まだ団らんというのが可能な時間に6分程度で間に合わないというのは、もういかにも残念で、こういう質問に及びました。

あれはないで、という市民がおったんです。いつも迎えに行ってるらしいんですけどね。ほんで、全部調べてみようと思って調べてみたんですけども、そしたら悲しいかな、何ていうんですか、計算してみますと、なんば発から計算したんですよ。そしたら50分くらいになると。着くのが。それでやってみたら、もう10分台というのは6しかないというのが

わからんで、隣から1借りてきたら5になるとか、そういうことがむちゃくちゃになってしまっていて、これ、質問分つくるだけでも頭がぐちゃぐちゃになってしまっていて、で、これでええだろうと送ったら、事務局で大分違いと訂正されました。ご迷惑かけました。ありがとうございました。

それで、これで事務局でもこんな迷惑かけるんだから、読んでたら絶対わからないだろうと思うに至ったわけです。それで、なんば発から考えてみたらどうかかなと思って、今の表をつくってみました。

だから、これ、ぱっとJRの時間が変わったり、なんば発の時間が変わったら、そこに入れてもらったらすぐ待ち時間が出るようになってますので、永久保存してください。

そんなことで、この質問については、先ほどこから同僚議員が言われてたように、予算かかるといことがないので、企画部長、やりますと、元気よく答えていただきたいと思います。どうでしょう。

○議長（井上勝彦君）企画部長。

○企画部長（森口清隆君）これにつきましては、1回目のご答弁でもさせていただきましたが、私どものほうから再三、JRまた南海にご要望を出していきたいと、このように思います。

○議長（井上勝彦君）12番 清水君。

○12番（清水信弘君）よろしくお願ひします。

次の質問に移りたいと思います。ご答弁よろしくお願ひします。

○議長（井上勝彦君）次に、質問項目2、橋本周辺広域ごみ処理場、高野口斎場の存続期間に関する質問に対する答弁を求めます。

市民部長。

〔市民部長（井浦健之君）登壇〕

○市民部長（井浦健之君）橋本周辺広域のごみ焼却場、高野口斎場の存続期間についてお

答えます。

橋本周辺広域ごみ処理場の設置期限は、橋本周辺広域市町村圏組合及び高野口町と関係区との間で、施設の稼働開始より20年間とする協定書を交わしています。ただし、法律で定められた環境基準を遵守し、周辺地域の環境に悪影響を及ぼさない限り、施設の設置を継続できるものとなっております。

次に、高野口斎場の設置期限は、橋本市長及び名倉北区並びに高野口斎場火葬炉増設計画対策委員会との間で交わされました建設同意の覚書第4条に係る地域整備事業の要望事項の実施に関する念書で、設置期限は20年とするとなっております。

なお、設置期限後につきましては、地元区と協議をし、決定していきたいと考えています。

○議長（井上勝彦君）12番 清水君、再質問ありますか。

12番 清水君。

○12番（清水信弘君）意外とすっきりと終わっていただきまして、ありがとうございました。

これはそれで結構なんですけれども、私、この間、大阪の斎場へ行く機会がありました。そのときにふと思ったんですけれども、周りは住宅ばかりだと。この施設を次、20年なり30年なり約束があるとしますと、どこへ持っていってもこれはだめなんじゃないかなというような気がいたしました。だから、この質問に、そういうところとの比較を入れておけばよかったなと思ったんですけれども、要望でもないんですけれども、機会があれば調べて、大阪とか都会の真ん中にある斎場とか焼却場、その周辺整備とか耐用年数が終わったらどうするのかと。そういうのをいっぺん調べていただいて、また委員会なりで報告していただければと思います。

以上、終わります。

○議長（井上勝彦君）12番 清水君の一般質問は終わりました。

○議長（井上勝彦君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会し、明6月19日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

ご苦労さんでございました。

（午後4時25分 延会）